可搬式自動スプレーユニット

取説No.SCU3C

Spraycart Ⅲ

HAタイプ
PAタイプ
VAタイプ
EAタイプ
EPAタイプ
コントローラー

取扱説明書

目　次

安全上のご注意 ……2
特長 ……3
梱包品の確認 ……3
各部の名称 ……4
お使いいただく前に ……5
操作の手順
　（本体図/自動ガンパーツリスト/自動ガンの接続方法）
　HAタイプ ……6
　PAタイプ ……8
　VAタイプ ……10
　EAタイプ ……12
　EPAタイプ ……14
　外部センサーの取付方法 ……16
コントローラー
　コントローラー各部名称と機能 ……18
　コントローラーの設定／クイックレファレンス ……20
　コントローラーの各種モード画面／カテゴリー／
　パラメーター ……30
　代表的なスプレー設定方法 ……38
お手入れ、メンテナンス ……43
故障と思われる前に ……44
主な仕様 ……45
製品保証書 ……46

このたびは可搬式スプレーユニットSPRAY CARTⅢを
お買い上げいただき誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
記載内容にしたがってご使用ください。

取扱説明書は大切に保管してください。

スプレーイング システムス ジャパン株式会社
Spraying Systems Co., Japan

安全上のご注意。必ずお守りください

SPRAY CARTⅢを正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や資産への損害を未然に防止するために「危険」「注意」の表示をしています。表示の内容をよく理解し、厳守したうえで製品のご使用をお願いいたします。

危　険 ····► 記載事項を無視して誤った取扱いをすると、生命にかかわるような重大な傷害、事故または機器の損傷につながるおそれが想定される内容を示しています。

注　意 ····► 記載事項を無視して誤った取扱いをすると、傷害または機器の損傷につながるおそれが想定される内容を示しています。

危　険

●本機の分解・改造は絶対にしないでください。修理は最寄りの弊社営業所にご相談ください。
●AC100V以外の電源では使用しないでください。
●定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
●電源スイッチがONの状態で電源プラグの抜き差しを行わないでください。また、使用後は必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。また電源プラグのほこりなどは定期的に除去するようにしてください。
●本装置はタンクを装備した圧力装置のため、小さい圧力でもケガをする可能性があります。タンクの取扱いには細心の注意をはらってください。
●タンクの蓋は、内圧がかかった状態では開かない構造になっています。タンクの蓋を開ける場合は１次エアー接続側のボールバルブを閉にし、蓋上部の安全弁を引き上げ、タンクの内圧を抜いてから蓋を開けるようにしてください。
●近くに爆発性ガス、引火性ガス、有機溶剤、爆発性粉塵および火気のない場所でご使用ください。
●人が出入りする場所で人体に有害な液は絶対に使用しないでください。

注　意

●使用時には、平坦な場所でキャスターのストッパーを確実にかけてから使用してください。壁等に立てかけたり、段差のある場所などで本体を傾けて設置すると転倒するおそれがあります。
●本機に水がかかるような環境で使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
●本機において、反応、沸騰、揮発、蒸発するような液を使用しないでください。
●電源コードを踏んだり、傷つけたり、または無理な力を加えないでください。
●延長コードの接続をさけ、直接元電源に接続してください。
●本体に衣類やタオルなどを掛けて使用しないでください。過熱や火災などの原因となります。

⚠ 注　意

●汚れを落とすときにシンナーやベンジンなど揮発性の溶剤は使用しないでください。本体を傷めたり、火災の原因となります。

●高温・多湿、低温、直射日光、雨ざらしの環境では使用しないでください。周囲温度　0℃～＋40℃、周囲湿度10～85%の結露のない環境で使用してください。

●ストーブなど高温のものには近づけないでください。

●タンクの接続口に金属パイプなどの延長管を直接接続しないでください。接続部に過度の力がかかり、破損する場合があります。

●0.7MPaを超える圧力のエアーを供給しないでください。圧力0.7MPaを超えるエアーを供給した場合、故障、破損の原因となります。

●タンクにエアー圧力がかかった状態でカプラーを外さないでください。

●供給エアーはクリーンなエアーをご使用ください。ミストセパレーターを使うと油分の除去に有効です。水分、油分を含むエアーを使用した場合、故障の原因となることがあります。

●使用する液体に合ったチューブを選んでください。液体によってはチューブが劣化することがあります。詳しくは弊社営業所にお問い合わせください。

●オプションの取扱いについては、オプションの注意事項をよくお読みください。

特長

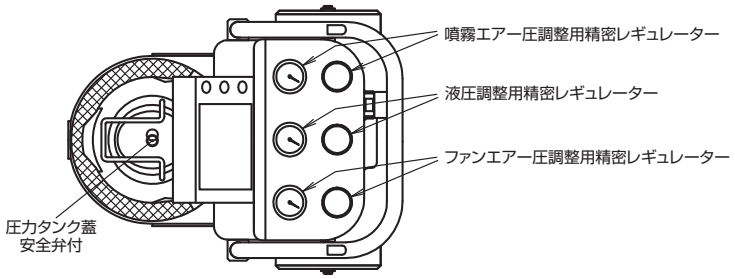
①工事不要で手軽に自動化。高い省力化効果。
②目的、用途に合わせて5バリエーション。
　HAタイプ（一流体自動スプレーガン用）
　PAタイプ（二流体自動スプレーガン用）
　VAタイプ（噴霧幅可変型二流体自動スプレーガン用）
　EAタイプ（高速電動一流体スプレーガン用）
　EPAタイプ（高速電動二流体スプレーガン用）
③きめ細かい流量制御を可能とした最新のデジタルコントロール。
④目的に合わせて、一流体、二流体自動スプレーガンからチョイス。
⑤抜群の操作性ときめ細かい安全設計。
⑥軽快な足回り。女性でも扱える可搬機能とスタイリング。
⑦タンクはワンタッチで取り付け、取り外し。

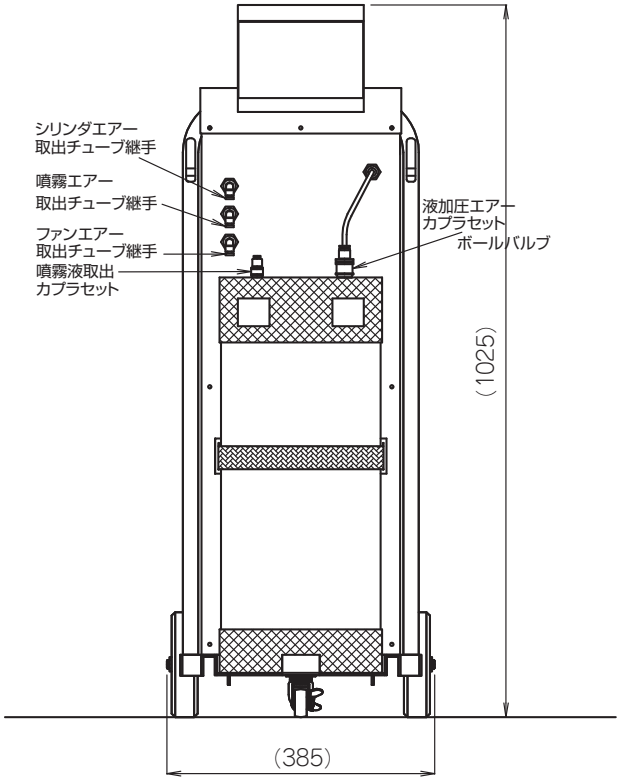
梱包品の確認

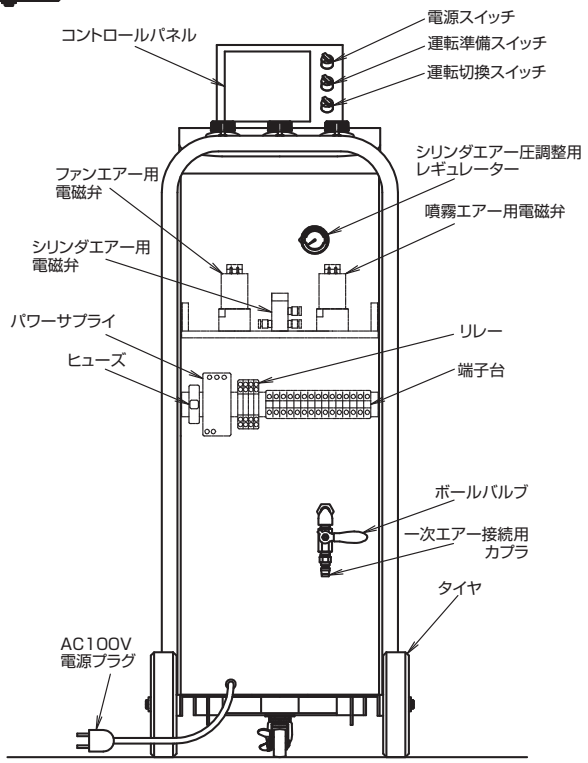
本体 ……1式
取扱説明書 ……1冊
設定記録シート ……1部

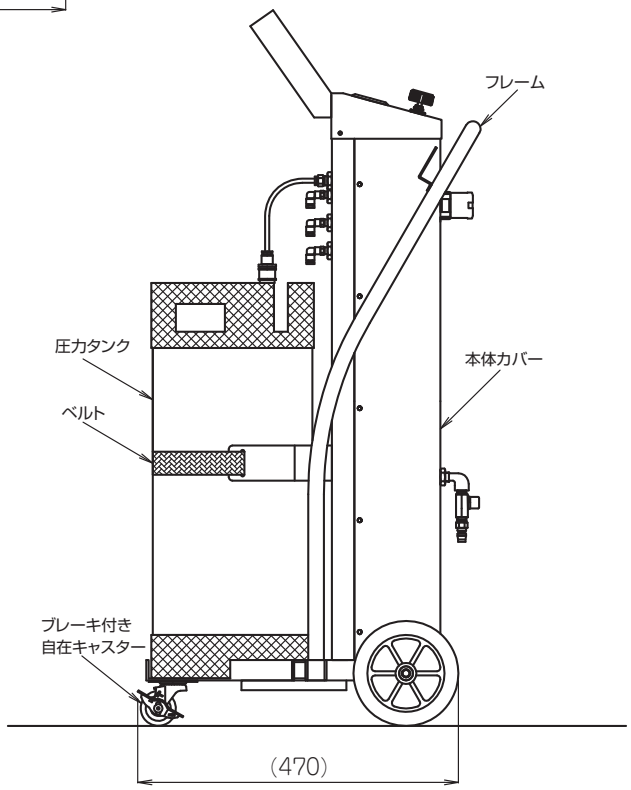
各部の名称（VAタイプ）

タイプによりレギュレーター、電磁弁、
継手の位置などが変わります。









お使いいただく前に（運転前の確認事項）

お使いいただく前に下記の事項に従って運転準備を行ってください。

１．使用する前にタンクの洗浄を確実に行ってください。
２．コントロールパネルの各スイッチをすべてOFFまたは停にしてください。
３．電源プラグをAC100V電源のコンセントに差し込んでください。コントロールパネルの電源スイッチがONの状態で電源プラグを抜き差ししないでください。
４．各レギュレーターが減圧状態になっているか確認してください。
５．本機と自動スプレーガンの継手、チューブ類が確実に接続されているか確認してください。
６．各機種 HA、PA、VA、EA、EPA に適合した自動スプレーガン、ノズルであることを必ずご確認ください。使用する自動スプレーガン、ノズルの取扱いならびにメンテナンスについては弊社営業所にお問い合わせください。

作業に必要な標準品とオプション品はすべてそろっていますか。いま一度確認してください。ご使用の機種によりHA、PA、VA、EA、EPAそれぞれの操作手順をよく読んでから作業に入ってください。

操作の手順

HAタイプ 一流体自動スプレーガン用（汎用型）

■接続と設定

必要に応じて次のページをご参照ください。

●本体と自動ガンの接続方法　7ページ

●外部センサーの取付け方法　16ページ

●コントローラー　17ページ

■操作の手順

【運転開始】

液を⑤圧力タンクに入れ、⑥蓋を閉じてください。

↓

自動スプレーガンと本体の接続を確認します。（7ページ参照）

↓

圧力0.3～0.7MPaのエアー源を“⑲一次エアー接続用カプラ”に接続します。

↓

液（タンク内）の圧力調整を“⑰液圧調整用精密レギュレーター”で行ってください。

↓

自動スプレーガンのシリンダエアー圧力を“⑱シリンダエアー圧調整用レギュレーター”で調整してください。
通常は0.3～0.5MPaです。

↓

電源プラグが100V電源のコンセントに差し込まれていることを確認し、コントロールパネルの“⑨運転準備スイッチ”が“OFF”、“⑩運転切換スイッチ”が“停”であることを確認した後、“⑧電源スイッチ”を“ON”にしてください。

A. センサー連動自動運転の場合	B. タイマー運転（手動スタート）の場合
↓	↓
20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。 外部センサーを接続する場合は16ページを参照してください。	20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。
↓	↓
“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“自”に合わせてください。 センサー検知およびタイマー設定に従ってスプレーが開始されます。	“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“手”に合わせてください。タイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

【運転終了】

“⑩運転切換スイッチ”を“停”にしてください。スプレー運転が停止します。

↓

“⑨運転準備スイッチ”“⑧電源スイッチ”をそれぞれOFFにしてください。

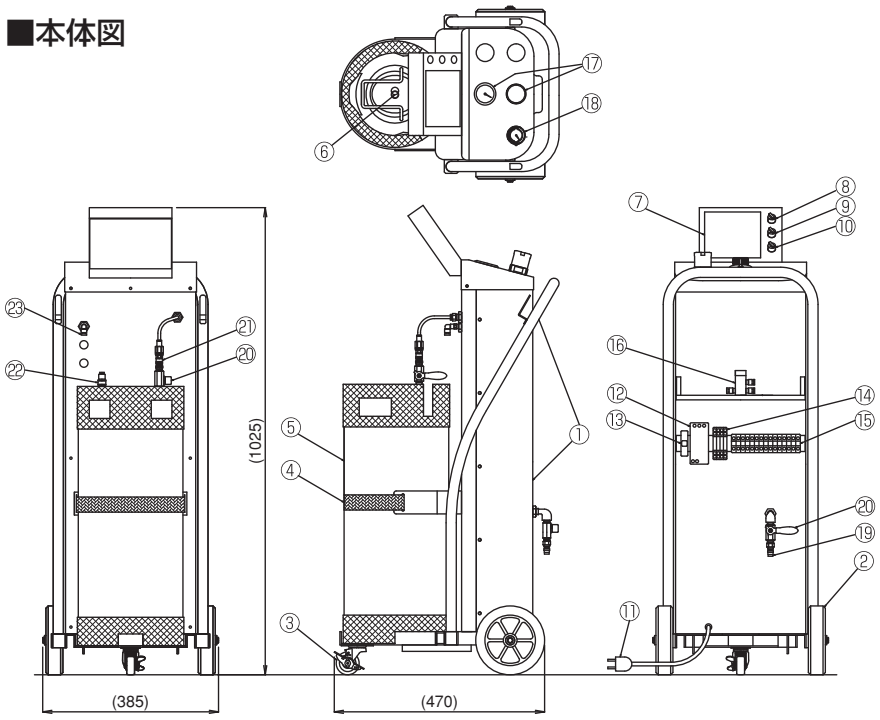
↓

すべてのレギュレーターを0MPaにしてください。

↓

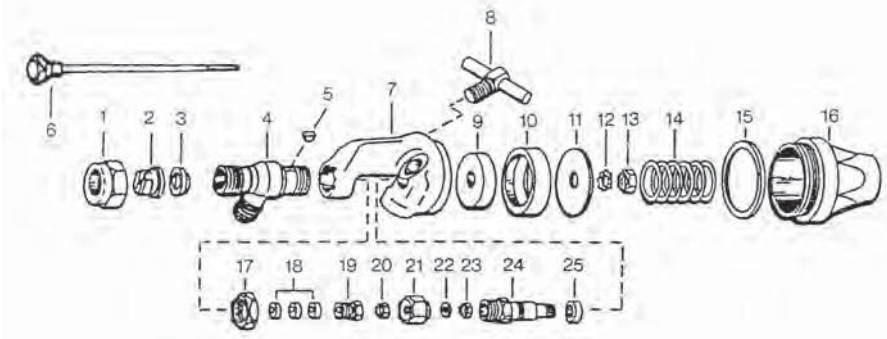
⑥圧力タンク蓋上部の安全弁リングを引き上げて、タンク内圧を抜いてください。

■本体図



番号	名　　称	材　質
①	フレーム、本体カバー	SS+塗装
②	タイヤ	ゴム他
③	ブレーキ付き自在キャスター	ゴム他
④	ベルト	ナイロン他
⑤	圧力タンク	SUS他
⑥	圧力タンク蓋：安全弁付	SUS他
⑦	コントローラー	-
⑧	電源スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑨	運転準備スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑩	運転切換スイッチ　手動/停止/自動	樹脂他
⑪	AC100V電源プラグ　コード4m	-
⑫	パワーサプライ	-
⑬	ヒューズ　3A	-
⑭	リレー	-
⑮	端子台	-
⑯	シリンダエアー用電磁弁	アルミ他
⑰	液圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
⑱	シリンダエアー圧調整用レギュレーター	樹脂他
⑲	一次エアー接続用カプラ	SS+メッキ
⑳	ボールバルブ	しんちゅう+メッキ
㉑	液加圧エアーカプラセット	SS+メッキ
㉒	噴霧液取出カプラセット	-
㉓	シリンダエアー取出チューブ継手	樹脂他

■ 推奨ガン：一流体自動スプレーガン　22AUH



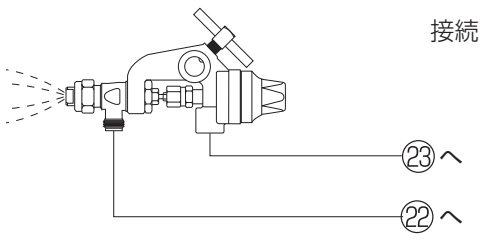
22AUHパーツリスト

パーツ番号		パーツ番号	
1	1325-NP	14	4029-SS
2	スプレーチップ	15	4238-CU
3	CP7490-SSTEF	16	4466-NP
4	7472-NP	17	7486-ICP
5	7892-ICP	18	7487-1-TEF
6	7482-1	19	7485-NP
7	75915-NP	20	7921-SS
8	8092-INP	21	7918-NP
9	7917	22	7920-SS
10	4237-LEA	23	7921-SS
11	7919	24	7916-NP
12	7924-410SS	25	8394-4010-Bu
13	7923-SS		

＊自動スプレーガンとノズルのお問い合わせはパーツ番号でご指示ください。
上記自動スプレーガンのパーツリストはしんちゅう製22AUHのものです。
これ以外の一流体自動スプレーガンのパーツリストにつきましては弊社営業所にお問い合わせください。

■本体と自動ガンの基本的接続方法

（推奨ガン22AUHをご使用の場合）



接続　液側1/4"NPS(M)
　　シリンダエアー側1/8"NPT(F)

操作の手順

PAタイプ 二流体自動スプレーガン用（汎用型）

■接続と設定

必要に応じて次のページをご参照ください。

●本体と自動ガンの接続方法　9ページ

●外部センサーの取付け方法　16ページ

●コントローラー　17ページ

■操作の手順

【運転開始】

液を⑤圧力タンクに入れ、⑥蓋を閉じてください。

↓

自動スプレーガンと本体の接続を確認します。（9ページ参照）

↓

圧力0.3～0.7MPaのエアー源を“㉑一次エアー接続用カプラ”に接続します。

↓

液（タンク内）の圧力調整を“⑲液圧調整用精密レギュレーター”で行ってください。

↓

自動スプレーガンのシリンダエアー圧力を “⑳シリンダエアー圧調整用レギュレーター”で調整してください。
通常は0.3～0.5MPaです。

↓

噴霧エアー圧力を “⑱噴霧エアー圧調整用精密レギュレーター”で調整してください。

↓

電源プラグが100V電源のコンセントに差し込まれていることを確認し、コントロールパネルの“⑨運転準備スイッチ”が“OFF”、“⑩運転切換スイッチ”が“停”であることを確認した後、“⑧電源スイッチ”を“ON”にしてください。

↓

A. センサー連動自動運転の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。
外部センサーを接続する場合は16ページを参照してください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“自”に合わせてください。
センサー検知およびタイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

B. タイマー運転（手動スタート）の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“手”に合わせてください。タイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

【運転終了】

“⑩運転切換スイッチ”を“停”にしてください。スプレー運転が停止します。

↓

“⑨運転準備スイッチ”“⑧電源スイッチ”をそれぞれOFFにしてください。

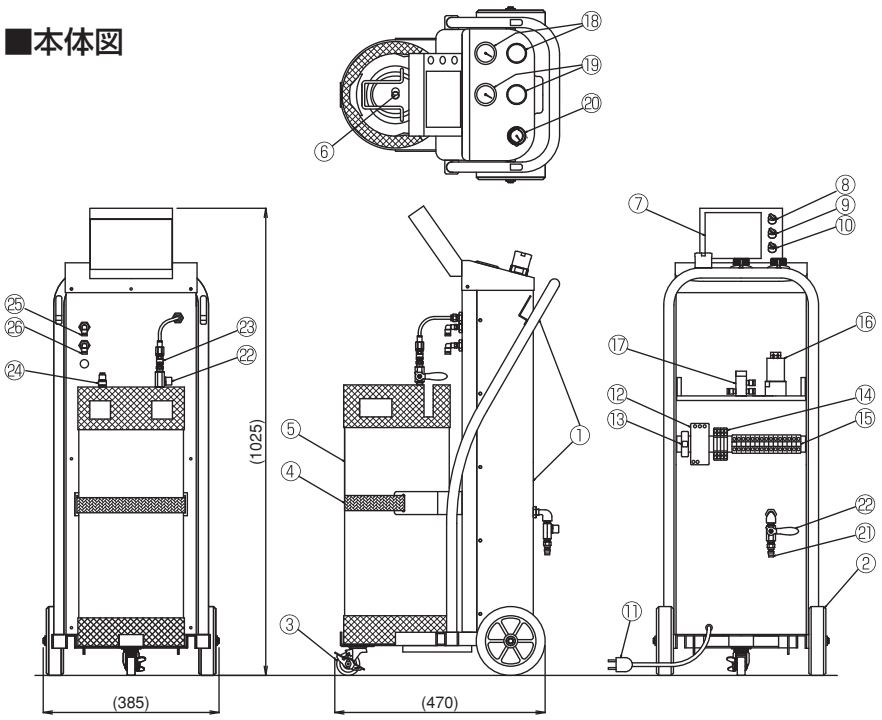
↓

すべてのレギュレーターを0MPaにしてください。

↓

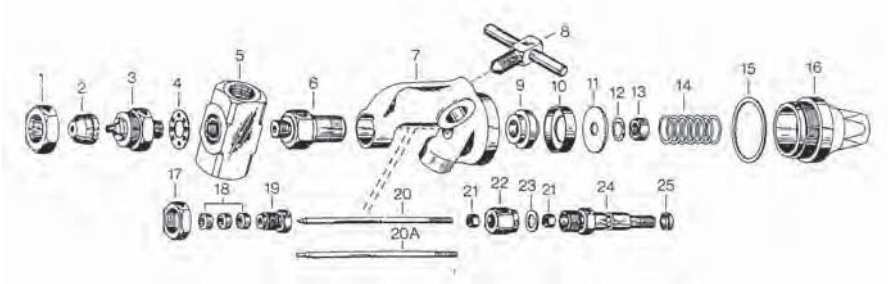
⑥圧力タンク蓋上部の安全弁リングを引き上げて、タンク内圧を抜いてください。

■本体図



番号	名　　称	材　質
①	フレーム、本体カバー	SS+塗装
②	タイヤ	ゴム他
③	ブレーキ付き自在キャスター	ゴム他
④	ベルト	ナイロン他
⑤	圧力タンク	SUS他
⑥	圧力タンク蓋：安全弁付	SUS他
⑦	コントローラー	-
⑧	電源スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑨	運転準備スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑩	運転切換スイッチ　手動/停止/自動	樹脂他
⑪	AC100V電源プラグ　コード4m	-
⑫	パワーサプライ	-
⑬	ヒューズ　3A	-
⑭	リレー	-
⑮	端子台	-
⑯	噴霧エアー用電磁弁	アルミ他
⑰	シリンダエアー用電磁弁	アルミ他
⑱	噴霧エアー圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
⑲	液圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
⑳	シリンダエアー圧調整用レギュレーター	樹脂他
㉑	一次エアー接続用カプラ	SS+メッキ
㉒	ボールバルブ	しんちゅう+メッキ
㉓	液加圧エアーカプラセット	SS+メッキ
㉔	噴霧液取出カプラセット	-
㉕	シリンダエアー取出チューブ継手	樹脂他
㉖	噴霧エアー取出チューブ継手	樹脂他

■ 推奨ガン：二流体自動スプレーガン　10535-1/4J



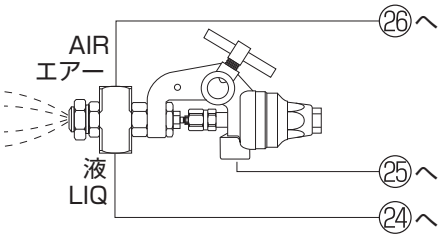
10535-1/4Jパーツリスト

パーツ番号		パーツ番号	
1	3199-NP	14	4029-SS
2	PA	15	4238-CU
3	PF　DF-SS	16	4466-NP
4	3612-TEF	17	7486-IZP
5	1151-1/4-NP	18	7487-1-TEF
6	10806-SS	19	7485-NP
7	7915-1/8-NP	20	10807-SS
8	8092-INP	20A	11206-SS
9	7917	21	7921-SS
10	4237-L	22	7918-NP
11	7919	23	7920-SS
12	7924-410SS	24	7916-NP
13	7923	25	8394-4010-Bu

＊自動スプレーガンとノズルのお問い合わせはパーツ番号でご指示ください。
上記自動スプレーガンのパーツリストはしんちゅう製10535-1/4Jのものです。
これ以外の二流体自動スプレーガンのパーツリストにつきましては弊社営業所にお問い合わせください。

■本体と自動ガンの基本的接続方法

（推奨ガン10535-1/4Jをご使用の場合）



接続　液側1/4"PTまたはNPT(F)
噴霧エアー側1/4"PTまたはNPT(F)
シリンダエアー側1/8"NPT(F)

操作手順

VAタイプ 二流体自動スプレーガン用（噴霧幅可変型）

■接続と設定

必要に応じて次のページをご参照ください。

●本体と自動ガンの接続方法　11ページ

●外部センサーの取付け方法　16ページ

●コントローラー　17ページ

■操作の手順

【運転開始】

液を⑤圧力タンクに入れ、⑥蓋を閉じてください。

↓

自動スプレーガンと本体の接続を確認します。（11ページ参照）

↓

圧力0.3～0.7MPaのエアー源を“㉓一次エアー接続用カプラ”に接続します。

↓

液（タンク内）の圧力調整を“⑳液圧調整用精密レギュレーター”で行ってください。

↓

自動スプレーガンのシリンダエアー圧力を “㉒シリンダエアー圧調整用レギュレーター”で調整してください。
通常は0.3～0.5MPaです。

↓

噴霧エアー圧力を “⑲噴霧エアー圧調整用精密レギュレーター”で調整してください。

↓

ファン（扇型）エアー圧力を “㉑ファンエアー圧調整用精密レギュレーター”で調整してください。

↓

電源プラグが100V電源のコンセントに差し込まれていることを確認し、コントロールパネルの“⑨運転準備スイッチ”が“OFF”、“⑩運転切換スイッチ”が“停”であることを確認した後、“⑧電源スイッチ”を“ON”にしてください。

↓

A. センサー連動自動運転の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。
外部センサーを接続する場合は16ページを参照してください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“自”に合わせてください。
センサー検知およびタイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

B. タイマー運転（手動スタート）の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“手”に合わせてください。タイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

【運転終了】

“⑩運転切換スイッチ”を“停”にしてください。スプレー運転が停止します。

↓

“⑨運転準備スイッチ”“⑧電源スイッチ”をそれぞれOFFにしてください。

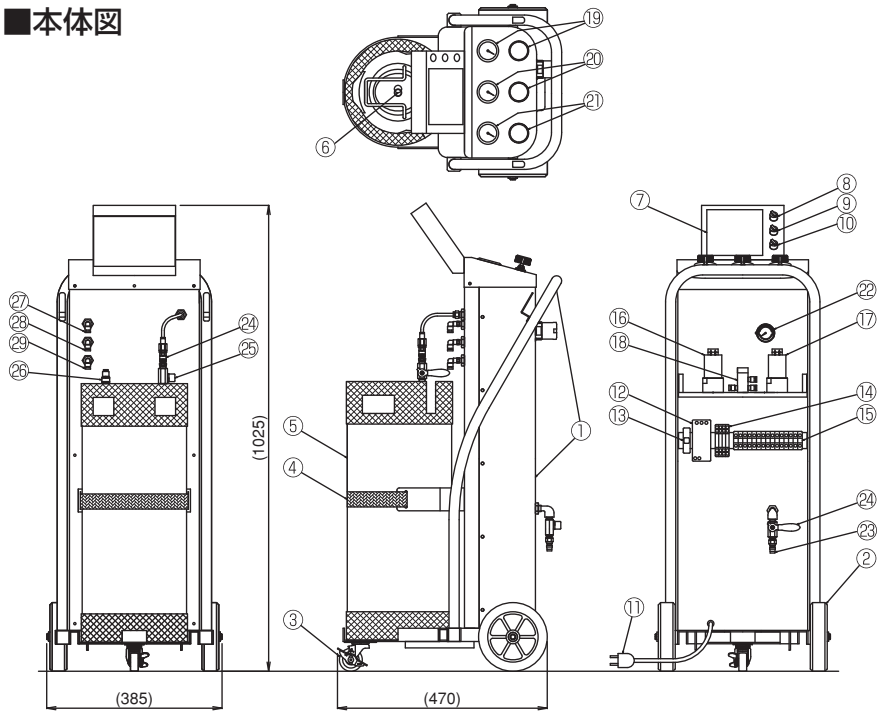
↓

すべてのレギュレーターを0MPaにしてください。

↓

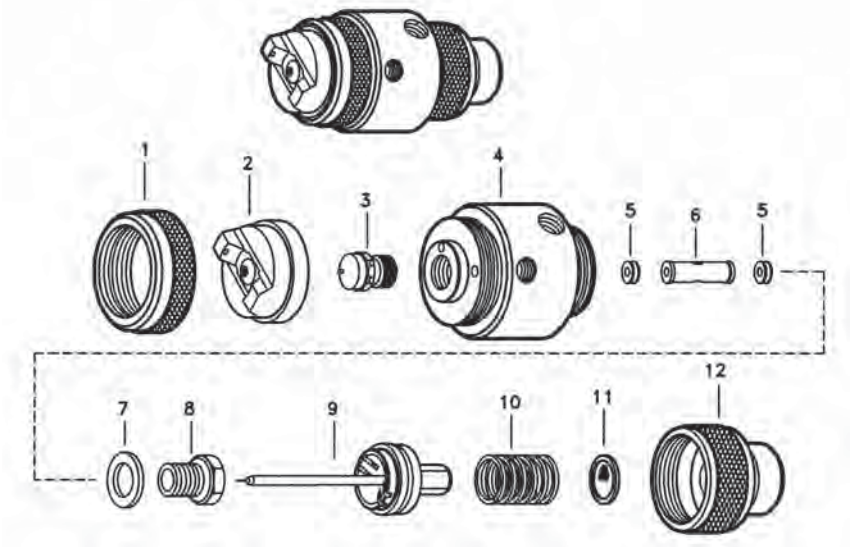
⑥圧力タンク蓋上部の安全弁リングを引き上げて、タンク内圧を抜いてください。

■本体図



番号	名　　称	材　質
①	フレーム、本体カバー	SS+塗装
②	タイヤ	ゴム他
③	ブレーキ付き自在キャスター	ゴム他
④	ベルト	ナイロン他
⑤	圧力タンク	SUS他
⑥	圧力タンク蓋：安全弁付	SUS他
⑦	コントローラー	-
⑧	電源スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑨	運転準備スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑩	運転切換スイッチ　手動/停止/自動	樹脂他
⑪	AC100V電源プラグ　コード4m	-
⑫	パワーサプライ	-
⑬	ヒューズ　3A	-
⑭	リレー	-
⑮	端子台	-
⑯	ファンエアー用電磁弁	アルミ他
⑰	噴霧エアー用電磁弁	アルミ他
⑱	シリンダエアー用電磁弁	アルミ他
⑲	噴霧エアー圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
⑳	液圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
㉑	ファンエアー圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
㉒	シリンダエアー圧調整用レギュレーター	樹脂他
㉓	一次エアー接続用カプラ	SS+メッキ
㉔	ボールバルブ	しんちゅう+メッキ
㉕	液加圧エアーカプラセット	SS+メッキ
㉖	噴霧液取出カプラセット	-
㉗	シリンダエアー取出チューブ継手	樹脂他
㉘	噴霧エアー取出チューブ継手	樹脂他
㉙	ファンエアー取出チューブ継手	樹脂他

■推奨ガン：噴霧幅可変型二流体自動スプレーガン　1/8VAU



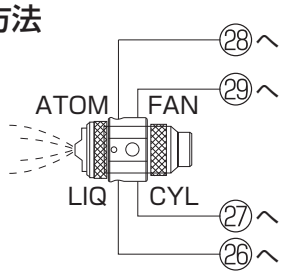
VAU パーツリスト

	パーツ番号
1	CP28207-101-SS
2	VA-**-SS
3	VF-**-SS
4	CP28210-102-SS
	CPB28210-103-SS
5	CP29578-001-VITEF
6	CP20221EC-TEF
7	CP28218-102-NY
8	CP29655-001-SS
9	28222-***-SS
10	CP30449-001-SS
11	7630EC-100
12	CP2811-101-SS

＊自動スプレーガンとノズルのお問い合わせはパーツ番号でご指示ください。
上記自動スプレーガンのパーツリストは 1/8VAUのものです。
これ以外の自動スプレーガンのパーツリストにつきましては弊社営業所にお問い合わせください。

■本体と自動ガンの基本的接続方法

（推奨ガン1/8VAUをご使用の場合）



接続　1/8"PTまたはNPT(F)

操作の手順

EAタイプ 一流体自動スプレーガン用（高速電動型）

■接続と設定

必要に応じて次のページをご参照ください。

●本体と自動ガンの接続方法　13ページ

●外部センサーの取付け方法　16ページ

●コントローラー　17ページ

■操作の手順

【運転開始】

液を⑤圧力タンクに入れ、⑥蓋を閉じてください。

↓

自動スプレーガンと本体の接続を確認します。（13ページ参照）

↓

エアー源を“⑰一次エアー接続用カプラ”に接続します。（最大圧力0.7MPa）

↓

液（タンク内）の圧力調整を“⑯液圧調整用精密レギュレーター”で行ってください。

↓

電源プラグが100V電源のコンセントに差し込まれていることを確認し、コントロールパネルの“⑨運転準備スイッチ”が“OFF”、“⑩運転切換スイッチ”が“停”であることを確認した後、“⑧電源スイッチ”を“ON”にしてください。

↓

A. センサー連動自動運転の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。
外部センサーを接続する場合は16ページを参照してください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“自”に合わせてください。
センサー検知およびタイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

B. タイマー運転（手動スタート）の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“手”に合わせてください。タイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

【運転終了】

“⑩運転切換スイッチ”を“停”にしてください。スプレー運転が停止します。

↓

“⑨運転準備スイッチ”“⑧電源スイッチ”をそれぞれOFFにしてください。

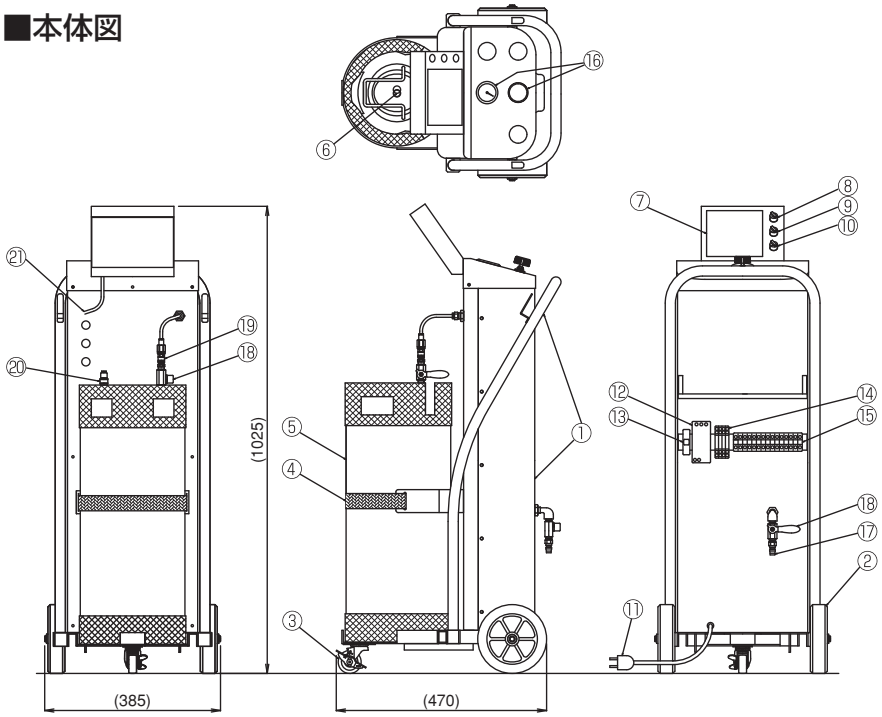
↓

すべてのレギュレーターを0MPaにしてください。

↓

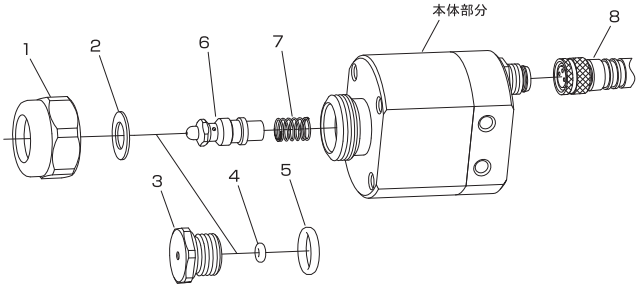
⑥圧力タンク蓋上部の安全弁リングを引き上げて、タンク内圧を抜いてください。

■本体図



番号	名　　称	材　質
①	フレーム、本体カバー	SS+塗装
②	タイヤ	ゴム他
③	ブレーキ付き自在キャスター	ゴム他
④	ベルト	ナイロン他
⑤	圧力タンク	SUS他
⑥	圧力タンク蓋：安全弁付	SUS他
⑦	コントローラー	-
⑧	電源スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑨	運転準備スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑩	運転切換スイッチ　手動/停止/自動	樹脂他
⑪	AC100V電源プラグ　コード4m	-
⑫	パワーサプライ	-
⑬	ヒューズ　3A	-
⑭	リレー	-
⑮	端子台	-
⑯	液圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
⑰	一次エアー接続用カプラ	SS+メッキ
⑱	ボールバルブ	しんちゅう+メッキ
⑲	液加圧エアーカプラセット	樹脂他
⑳	噴霧液取出カプラセット	-
㉑	電動ガン接続用ケーブル	-

■推奨ガン：高速電動型一流体自動スプレーガン　10000AUH



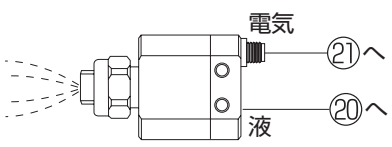
＊自動スプレーガンとノズルのお問い合わせはパーツ番号でご指示ください。
本体部分のパーツに関しては弊社営業所にお問い合わせください。

10000AUHシリーズ パーツリスト

	AA10000AUH-01	AA10000AUH-03	AA10000AUH-10
1	1325-SS	1325-SS	63164-SS
2	4743-TEF	4743-TEF	63169-TEF
3	50683-SS	50683-SS	63163-SS
4	7717-2/004-VI	—	—
5	7717-7-VI	7717-7-VI	7717-2-15-VI
6	50690-VI	50690-VI	63165-VI
7	50691-SS	50691-SS	63172-SS
8	50699-5	50699-5	50699-5

■本体と自動ガンの基本的接続方法

（推奨ガン10000AUHをご使用の場合）



接続　液側1/8"PTまたはNPT(F)
　　電気コネクター（3芯）M8(M)

操作の手順

EPAタイプ 二流体自動スプレーガン用（高速電動型）

■接続と設定

必要に応じて次のページをご参照ください。

●本体と自動ガンの接続方法　14ページ

●外部センサーの取付け方法　16ページ

●コントローラー　17ページ

■操作の手順

【運転開始】

液を⑤圧力タンクに入れ、⑥蓋を閉じてください。

↓

自動スプレーガンと本体の接続を確認します。（14ページ参照）

↓

圧力0.3～0.7MPaのエアー源を“⑲一次エアー接続用カプラ”に接続します。

↓

液（タンク内）の圧力調整を“⑱液圧調整用精密レギュレーター”で行ってください。

↓

電源プラグが100V電源のコンセントに差し込まれていることを確認し、コントロールパネルの“⑨運転準備スイッチ”が“OFF”、“⑩運転切換スイッチ”が“停”であることを確認した後、“⑧電源スイッチ”を“ON”にしてください。

↓

A. センサー連動自動運転の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。
外部センサーを接続する場合は16ページを参照してください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“自”に合わせてください。
センサー検知およびタイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

B. タイマー運転（手動スタート）の場合

↓

20ページのコントローラーの設定を参照して設定を行ってください。

↓

“⑨運転準備スイッチ”を“ON”にし、“⑩運転切換スイッチ”を“手”に合わせてください。タイマー設定に従ってスプレーが開始されます。

【運転終了】

“⑩運転切換スイッチ”を“停”にしてください。スプレー運転が停止します。

↓

“⑨運転準備スイッチ”“⑧電源スイッチ”をそれぞれOFFにしてください。

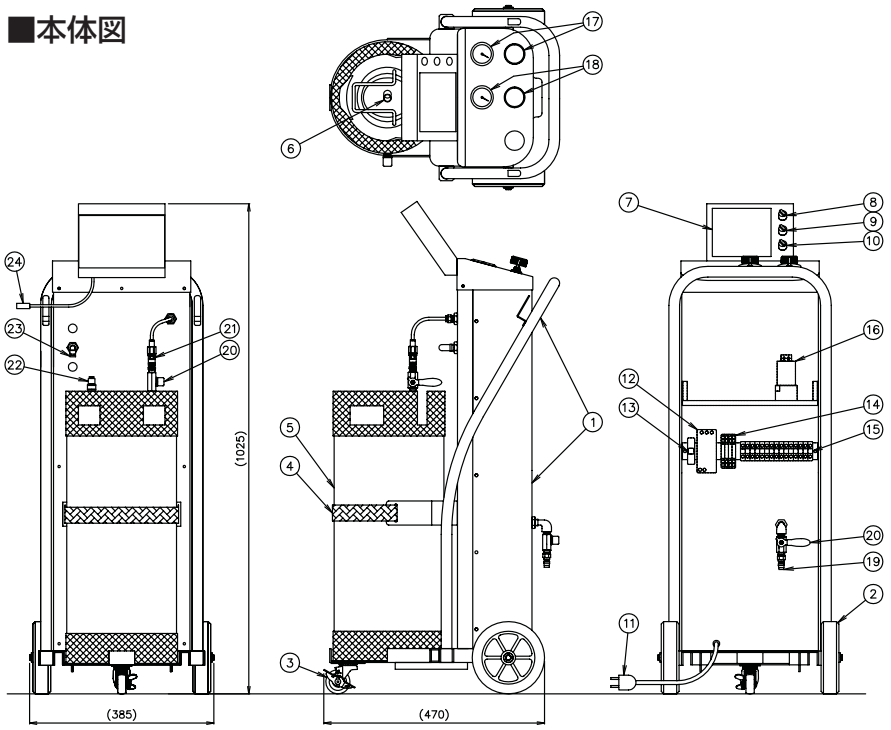
↓

すべてのレギュレーターを0MPaにしてください。

↓

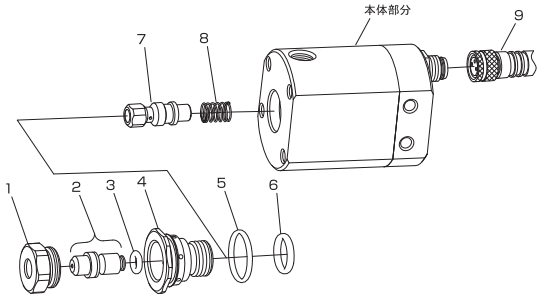
⑥圧力タンク蓋上部の安全弁リングを引き上げて、タンク内圧を抜いてください。

■本体図



番号	名　　称	材　質
①	フレーム、本体カバー	SS+塗装
②	タイヤ	ゴム他
③	ブレーキ付き自在キャスター	ゴム他
④	ベルト	ナイロン他
⑤	圧力タンク	SUS他
⑥	圧力タンク蓋：安全弁付	SUS他
⑦	コントローラー	-
⑧	電源スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑨	運転準備スイッチ　ON/OFF	樹脂他
⑩	運転切換スイッチ　手動/停止/自動	樹脂他
⑪	AC100V電源プラグ　コード4m	-
⑫	パワーサプライ	-
⑬	ヒューズ　3A	-
⑭	リレー	-
⑮	端子台	-
⑯	噴霧エアー用電磁弁	アルミ他
⑰	噴霧エアー圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
⑱	液圧調整用精密レギュレーター	アルミ他
⑲	一次エアー接続用カプラ	SS+メッキ
⑳	ボールバルブ	しんちゅう+メッキ
㉑	液加圧エアーカプラセット	SS+メッキ
㉒	噴霧液取出カプラセット	-
㉓	噴霧エアー取出チューブ継手	樹脂他
㉔	電動ガン接続用ケーブル	-

■推奨ガン：高速電動型二流体自動スプレーガン　10000JJAU



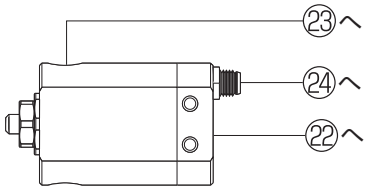
＊自動スプレーガンとノズルのお問い合わせはパーツ番号でご指示ください。
本体部分のパーツに関しては弊社営業所にお問い合わせください。

10000JJAUシリーズ パーツリスト

1	総合カタログのJJ用セットアップをご参照ください。 内部混合：CP13981　外部混合：CP46259
2	総合カタログのJJ用セットアップをご参照ください。
3	7717-2/007-VI
4	55196-SS
5	7717-M13.89x1.3-VIFDA
6	7717-7-VI
7	50697-VI
8	50691-SS
9	50699-5-PVC

■本体と自動ガンの基本的接続方法

（推奨ガン10000JJAUをご使用の場合）

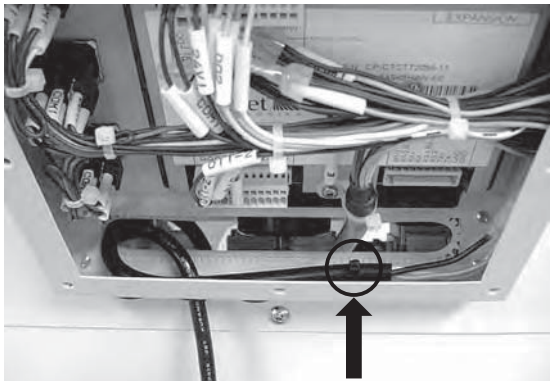


接続　液側1/8"PTまたはNPT(F)
電気コネクター（3芯）M8(M)

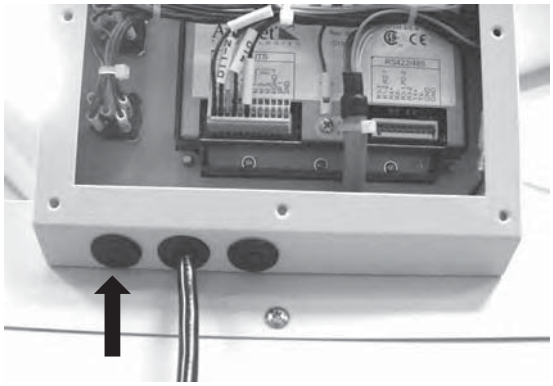
操作の手順

外部センサーの取付方法

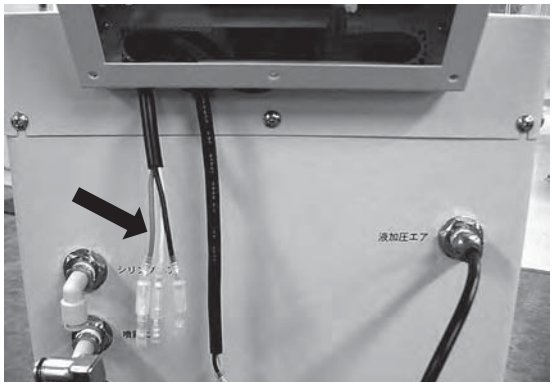
①コントロールパネルの裏カバーを外します。
→外すネジ(十字ネジ)は○で囲まれた 8 箇所です。
→各ネジ部とカバー部にはパッキンが装着されていますので、紛失しないようご注意ください。



②センサー接続用ケーブルを固定している結束バンドを、ニッパ等を用いて切り取ります。



③写真左端、膜付きグロメットの中央部にカッター等を用いて切り込みを入れます。
→切り込みを入れる際、膜付きグロメットはコントロールボックスから外して作業を行ってください。



④センサー接続用ケーブルを写真のように取り出し、切り込みを入れた膜付きグロメットを再装着してください。
→センサー接続用ケーブルを取り出す際は、3本の端子を一度に取り出すことはできませんので1本ずつ順次取り出してください。

⑤センサー(NPN出力タイプ)接続について
→赤・黒・白の各ケーブルは次の通り接続してください。
・ 赤色ケーブル　→　センサー電源用：DC24V(+)
・ 黒色ケーブル　→　COM(−) / OV(−)※
・ 白色ケーブル　→　センサー接点用
※出荷時期により、2種類の表示があります。

コントローラー

コントローラー各部名称と機能
　各部名称と機能 ……18
　キーボードラベル ……18
　キーパッド ……19
コントローラーの設定／クイックレファレンス
　コントローラーを設定する前に ……20
　タイマー設定 ……20
　パラメーターの設定・確認 ……27
コントローラーの各種モード画面／カテゴリー／
パラメーター
　運転モード画面 ……30
　異常モード画面 ……30
　設定モード画面 ……31
　　c- 1：リピートおよび時間設定について ……33
　　c- 2：信号極性選択について ……34
　　c- 3：レベルスイッチ設定について ……35
　　c-10：その他の設定について ……36
代表的なスプレー設定方法
　コントローラーの設定
　ワンショットスプレー ……38
　繰返しスプレー ……39
　連続スプレー ……40
　ワーク検出時間同期スプレー ……41

コントローラー各部名称と機能

各部名称と機能（写真はPAタイプ）

電源スイッチ
装置全体の電源の ON/OFF を行います。

運転準備スイッチ
ONにすると運転可能状態に入ります。ONにしないとカートは一切作動しません。

運転切換スイッチ
自：センサー連動自動運転を開始します。
手：タイマー運転（手動スタート）を開始します。
停：スプレーを停止します。

シリンダエアー圧調整用
レギュレーター

液圧調整用精密
レギュレーター

噴霧エアー圧調整用精密
レギュレーター

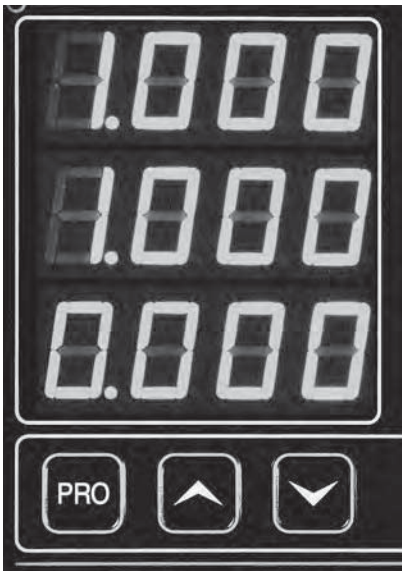
キーボードラベル

①スプレー運転をする際の画面表示（運転モード画面）の内容を示します。
待　機　時　間：センサー検知がONになってからスプレーを開始するまでの時間（秒）ないし、スプレーとスプレーの間の停止時間（秒）です。
ス プ レ ー 時 間：スプレーする時間（秒）です。
スプレー継続時間：センサー検知が切れてからスプレーを終了させるまでの時間（秒）です。

②状態表示ＬＥＤ
異　　常：コントローラーが異常を検知した際に点灯します。
運　　転：スプレー運転が可能な状態のときに点灯します。
スプレー：スプレーしている間、点灯します。

③異常時のガイド
異常のリセット方法、異常メッセージの非表示/表示切換え方法です。

キーパッド



コントロールパネルには 3 つのキーパッドがあり、コントローラーを操作するのに使用します。

キーパッド：PRO キー、▲ キー、▼ キー

モードによってキーの機能は下表のように異なります。
下表で複数のキーが並んでいる個所は、キーを同時に押すことを意味します。
また、長押しとはキーを 3 秒以上押し続けることを指します。

モード：

運転モード・・・スプレー運転をする際のモード
設定モード・・・コントローラーを設定するモード
異常モード・・・異常を検知した際に表示されるモード

（キー）	（画面）	（内容）
PRO （長押し）	運転モード	設定モード画面へ進む
PRO ▼	運転モード	異常をリセットする
PRO ▲	運転モード	異常LED点灯時、異常モード画面を表示する
PRO （長押し）	異常モード	設定モード画面へ進む
PRO ▼	異常モード	異常をリセットする
PRO ▲	異常モード	異常を非表示にする（運転モード画面へ戻る）
PRO （長押し）	設定モード	運転モード画面へ戻る
PRO	設定モード	値を保存して次のパラメーターへ進む
▲	設定モード	値を増やす、または YES を選択
▼	設定モード	値を減らす、または no を選択
PRO ▲	設定モード	値を最大に設定する
PRO ▼	設定モード	値を最小に設定する

コントローラーの設定／クイックレファレンス

コントローラーを設定する前に

運転準備スイッチが“OFF”、運転切換スイッチが“停”であることを確認して、電源スイッチをONにしてください。最初の画面が運転モード画面です。

設定にあたり

- 運転モード画面でPROキーを3秒以上長押しすると設定モード画面に移ります。
- 設定モード画面でPROキーを3秒以上長押しすると運転モード画面に戻ります。
- 設定モード画面で30秒以上何も操作しない場合、運転モード画面に戻ります。

タイマー設定

ご希望の動作により次の各ページにしたがって設定してください

センサー検知（または運転切換スイッチ“手”）ごとに1回だけスプレーしたい場合…

Ⅰ ワンショットスプレー ……21ページ

センサー検知（または運転切換スイッチ“手”）がONの間、繰返しスプレーしたい場合…

Ⅱ 繰返しスプレー ……23ページ

センサー検知（または運転切換スイッチ“手”）がONの間、連続してスプレーし、OFFでスプレーを停止したい場合…

Ⅲ 連続スプレー ……25ページ

注意 ‼

タイマー設定は、運転切換スイッチを“停”、運転準備スイッチを“OFF”の状態で行って下さい。

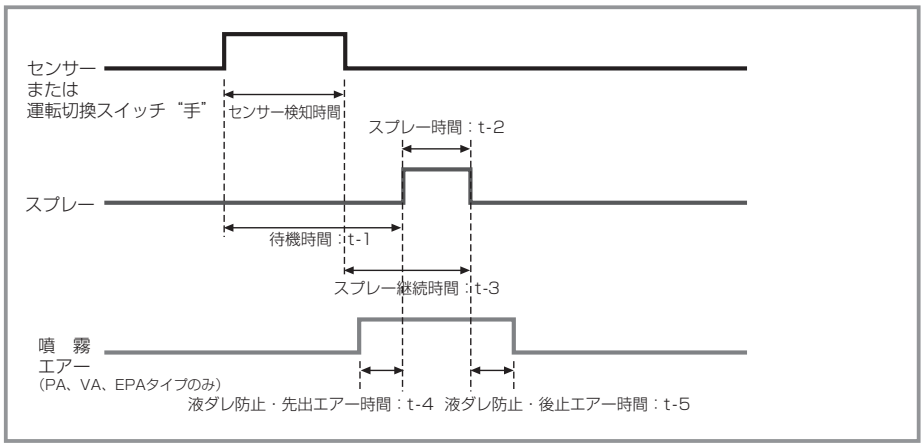
運転スイッチを“ON”の状態で設定を行った場合コントローラーの表示は変更されますが、実際の出力は更新されません。

その場合、運転準備スイッチを一旦“OFF”にし、再度“ON”にして下さい。

Ⅰ ワンショットスプレー

センサー検知（または運転切換スイッチ“手”）ごとに1回だけタイマーにしたがってスプレーする設定です。

注意 !!
SCU3-EA/EPAタイプで高速電動型スプレーガン10000AUH[AA(B)10000AUH-01/-03/-10] /10000JJAUを使用される際の最小設定時間*は以下の通りです。（*各設定時間を下記以上にしてください。）
待機時間：0.010秒
スプレー時間：0.010秒
その他の自動ガンにつきましては、タイプやご使用条件により最小設定時間及び最大サイクルが異なりますので、以下の計算式及び自動スプレーガンカタログ（ブリテンNo.J881）をご参照ください。
サイクル：180回/minの場合
60秒÷180回＝約0.33秒/回
0.33÷2**=約0.17 **ONとOFFで1サイクル。
待機時間：0.17秒
スプレー時間：0.17秒



設定モード画面への移行

①PROキーを3秒以上長押しします。
➡運転モード画面から設定モード画面に変わり、c-1が点滅します。

リピート設定

②PROキーを1回押します。
➡3行目が点滅します。▲▼キーでnoを表示させてください。

待機時間設定

③PROキーを1回押します。
➡t-1の下の行が点滅します。▲▼キーで任意の待機時間（秒）を設定してください。
待機時間とは、センサー検知がONになってから（または運転切換スイッチを“手”にしてから）スプレーを開始するまでの時間のことを指します。

スプレー時間設定

④PROキーを１回押します。
➡t-2の下の行が点滅します。▲▼キーで任意のスプレー時間（秒）を設定してください。

コントローラーの設定／クイックレファレンス

スプレー継続時間設定

⑤ PRO キーを１回押します。

➡ t- 3 の下の行が点滅します。 ∧ ∨ キーで任意のスプレー継続時間（秒）を設定してください。

通常の設定値は、 t- 1 （待機時間）＋ t- 2 （スプレー時間）－センサー検知時間です。0.000にしたときは、センサー検知が終わると同時にスプレーが停止し、場合によってはスプレーしないときもあります。

液ダレ防止・先出エアー時間設定

⑥ PRO キーを１回押します。

➡ t- 4 の下の行が点滅します。

HA、EAタイプの場合は ∧ ∨ キーで0.000に設定してください。

PA、VA、EPAタイプの場合は ∧ ∨ キーで液ダレ防止・先出エアー時間（秒）を設定してください。ご使用条件により液ダレしない数値を設定してください。（出荷時は0.200に設定されています）

液ダレ防止・後止エアー時間設定

⑦ PRO キーを１回押します。

➡ t- 5 の下の行が点滅します。

HA、EAタイプの場合は ∧ ∨ キーで0.000に設定してください。

PA、VA、EPAタイプの場合は ∧ ∨ キーで液ダレ防止・後止エアー時間（秒）を設定してください。ご使用条件により液ダレしない数値を設定してください。（出荷時は0.200に設定されています）

運転モード画面への移行

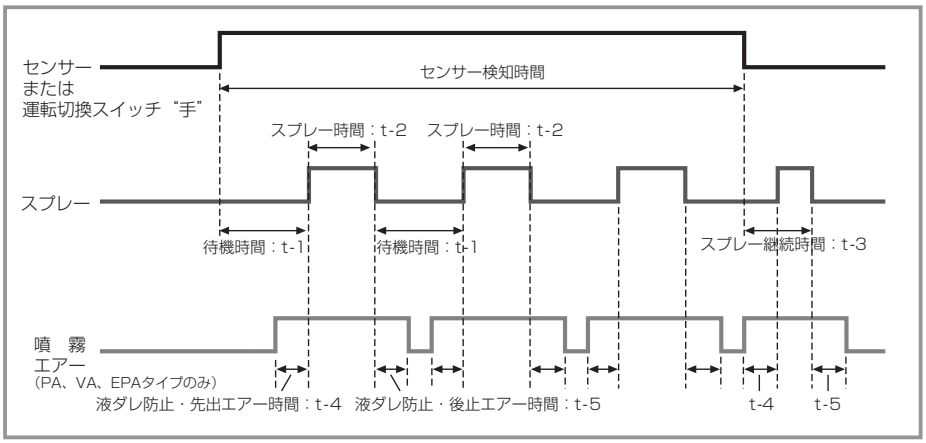
⑧ PRO キーを3秒以上長押しします。

➡運転モード画面に戻ります。

これでワンショットスプレーのタイマー設定が終わりました。続けて27ページの「パラメーターの設定・確認」を行ってください。

Ⅱ 繰返しスプレー

センサー検知（または運転切換スイッチ“手”）がONの間、タイマーにしたがって繰返しスプレーする設定です。



注意 !!
SCU3-EA/EPAタイプで高速電動型スプレーガン10000AUH[AA(B)10000AUH-01/-03/-10] /10000JJAUを使用される際の最小設定時間*は以下の通りです。（*各設定時間を下記以上にしてください。）
待機時間：0.010秒
スプレー時間：0.010秒
その他の自動ガンにつきましては、タイプやご使用条件により最小設定時間及び最大サイクルが異なりますので、以下の計算式及び自動スプレーガンカタログ（ブリテンNo.J881）をご参照ください。
サイクル：180回/minの場合
60秒÷180回＝約0.33秒/回
0.33÷2**=約0.17 **ONとOFFで1サイクル。
待機時間：0.17秒
スプレー時間：0.17秒

設定モード画面への移行

①PROキーを3秒以上長押しします。
➡運転モード画面から設定モード画面に変わり、c-1が点滅します。

リピート設定

②PROキーを1回押します。
➡3行目が点滅します。▲▼キーでYESを表示させてください。

待機時間設定

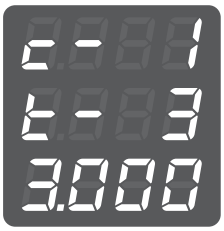
③PROキーを1回押します。
➡t-1の下の行が点滅します。▲▼キーで任意の待機時間（秒）を設定してください。
待機時間とは、センサー検知がONになってから（または運転切換スイッチを“手”にしてから）スプレーを開始するまでの時間、およびスプレーとスプレーの間の停止時間のことを指します。

スプレー時間設定

④PROキーを１回押します。
➡t-2の下の行が点滅します。▲▼キーで任意のスプレー時間（秒）を設定してください。

コントローラーの設定／クイックレファレンス

スプレー継続時間設定

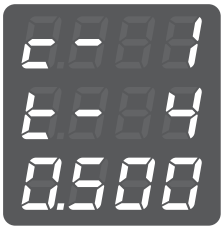


⑤ PRO キーを１回押します。

➡ t- 3 の下の行が点滅します。 ▲ ▼ キーで任意のスプレー継続時間（秒）を設定してください。

スプレー継続時間とは、センサー検知が切れてから（または運転切換スイッチを“停”にしてから）スプレーを終了させるまでの時間を指します。0.000にしたときは、センサー検知が終わると同時にスプレーが停止し、場合によってはスプレーしないときもあります。

液ダレ防止・先出エアー時間設定



⑥ PRO キーを１回押します。

➡ t- 4 の下の行が点滅します。

HA、EAタイプの場合は ▲ ▼ キーで0.000を設定してください。

PA、VA、EPAタイプの場合は ▲ ▼ キーで液ダレ防止・先出エアー時間（秒）を設定してください。ご使用条件により液ダレしない数値を設定してください。（出荷時は0.200に設定されています）

液ダレ防止・後止エアー時間設定

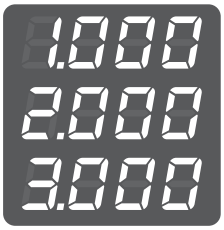
⑦ PRO キーを1回押します。

➡ t- 5 の下の行が点滅します。

HA、EAタイプの場合は ▲ ▼ キーで0.000を設定してください。

PA、VA、EPAタイプの場合は ▲ ▼ キーで液ダレ防止・後止エアー時間（秒）を設定してください。ご使用条件により液ダレしない数値を設定してください。（出荷時は0.200に設定されています）

運転モード画面への移行



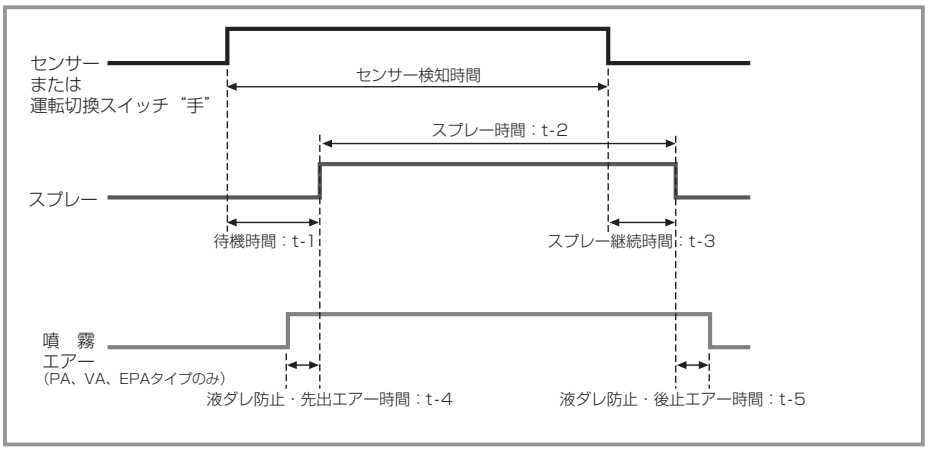
⑧ PRO キーを3秒以上長押しします。

➡運転モード画面に戻ります。

これで繰返しスプレーのタイマー設定が終わりました。続けて27ページの「パラメーターの設定・確認」を行ってください。

Ⅲ 連続スプレー

センサー検知（または運転切換スイッチ“手”）がONの間、連続してスプレーし、OFFでスプレーを停止させる設定です。



設定モード画面への移行

①PROキーを3秒以上長押しします。

➡運転モード画面から設定モード画面に変わり、c-1が点滅します。

リピート設定

②PROキーを1回押します。

➡3行目が点滅します。▲▼キーでnoを表示させてください。

待機時間設定

③PROキーを1回押します。

➡t-1の下の行が点滅します。▲▼キーで任意の待機時間（秒）を設定してください。

待機時間とは、センサー検知がONになってから（または運転切換スイッチを“手”にしてから）スプレーを開始するまでの時間のことを指します。

HA、EAタイプは、0.000にするとセンサー検知と同時にスプレーを開始します。

PA、VA、EPAタイプでセンサー検知とほぼ同時にスプレーを開始したい場合は、t-4（液ダレ防止先出エア時間）とt-1（待機時間）を同じ値にしてください。

スプレー時間設定

④PROキーを１回押します。

➡t-2の下の行が点滅します。▲▼キーでスプレー時間をInF1にしてください。

InF1は0.001の前、9999の次に表示されます。

コントローラーの設定／クイックレファレンス

スプレー継続時間設定

⑤ PRO キーを１回押します。

➡ t- 3 の下の行が点滅します。 ^ v キーで任意のスプレー継続時間（秒）を入力してください。

t- 1 （待機時間）と同じ値を入力すると、コンベアを連続または断続的に流れてくるワークに対して、センサー検知時間と同じ時間スプレーすることができます。

液ダレ防止・先出エアー時間設定

⑥ PRO キーを１回押します。

➡ t- 4 の下の行が点滅します。

HA、EAタイプの場合は ^ v キーで0.000を設定してください。

PA、VA、EPAタイプの場合は ^ v キーで液ダレ防止・先出エアー時間（秒）を設定してください。ご使用条件により液ダレしない数値を設定してください。（出荷時は0.200に設定されています）

液ダレ防止・後止エアー時間設定

⑦ PRO キーを1回押します。

➡ t- 5 の下の行が点滅します。

HA、EAタイプの場合は ^ v キーで0.000を設定してください。

PA、VA、EPAタイプの場合は ^ v キーで液ダレ防止・後止エアー時間（秒）を設定してください。ご使用条件により液ダレしない数値を設定してください。（出荷時は0.200に設定されています）

運転モード画面への移行

⑧ PRO キーを3秒以上長押しします。

➡運転モード画面に戻ります。

これで連続スプレーのタイマー設定が終わりました。続けて27ページの「パラメーターの設定・確認」を行ってください。

パラメーターの設定・確認

20～26ページのタイマー設定をした後、以下のパラメーターを設定・確認してください。

設定モード画面への移行

①PROキーを3秒以上長押しします。

➡運転モード画面から設定モード画面に変わり、c- 1が点滅します。

入出力信号反転設定

②キーを1回押します。

➡c- 2が点滅します。

c- 2は入出力信号を設定するカテゴリーです。

③PROキーを1回押すごとに2行目のパラメーターがP-21からP-27まで順次変わりますので、キーで3行目を次のように設定してください。

1行目 カテゴリー	2行目 パラメーター	3行目 設定値	内容
c- 2 （信号極性）	P-21	no	トリガー信号入力
	P-22	YES	停止信号入力
	P-23	no	レベルスイッチ信号入力
	P-24	no	シリンダーバルブ信号入力
	P-25	no	エアーバルブ信号入力
	P-26	no	異常信号入力
	P-27	no	運転信号入力

入出力信号反転設定

④ ③の設定が終わったらPROキーを押して、c- 2が点滅した状態にします。

レベルスイッチ設定

⑤キーを１回押します。

➡c- 3が点滅します。

c- 3はオプションのレベルスイッチを設定するカテゴリーです。

レベルスイッチを使用する場合は33ページの「レベルスイッチ設定」をご参照ください。

レベルスイッチを搭載していない場合は続けて以下の設定をしてください。

⑥ PRO キーを１回押すごとに2行目のパラメーターが変わりますので、 ∧ ∨ キーで3行目を次のように no に設定してください。

1行目 カテゴリー	2行目 パラメーター	3行目 設定値	内容
c- 3 （レベル スイッチ）	P-31	no	レベルスイッチの使用の有無
	P-32	no	異常（液無し）時のスプレー停止選択
	P-33	no	異常（液無し）を検知するのは？

レベルスイッチ設定

⑦ ⑥の設定が終わったら、 PRO キーを押して、 c- 3 が点滅した状態にします。

その他の設定

⑧ ∧ キーを１回押します。

➡ c- 10 が点滅します。

c- 10 はその他の設定のカテゴリーです。

⑨ PRO キー１回押すごとに2行目のパラメーターが変わりますので、3行目が下表の設定値であることを確認してください。

1行目 カテゴリー	2行目 パラメーター	3行目 設定値	内容
c- 10 （その他）	P101	StbY	開始モード
	P102	任意	データ通信※
	P104	0.000	パスワード設定※注意！

※ P102 ：この設定値はメーカーがデータ通信をする際に使用します。お客様のご使用にあたって、どの設定値でも本機の動作は変わりません。

※注意！

P104 ：パスワード設定…パスワード設定をしない場合は値を0.000にしておいてください。

パスワードを設定する場合は36ページをご参照ください。

運転モード画面への移行

⑩設定を確認したら PRO キーを3秒以上長押しします。

➡運転モード画面に戻ります。

これですべての設定が完了しました。

運転開始

運転準備スイッチを“ON”にし、センサーをご使用の場合は運転切換スイッチ“自”、手動でタイマー運転をスタートさせる場合は運転切換スイッチ“手”でスプレーコントロールを開始します。

①運転準備スイッチON
→運転LED点灯

②運転切換スイッチ“手”または“自”
→スプレー時スプレーLED点灯
待機中は消灯

運転停止

運転切換スイッチ“停”でスプレーコントロールを停止します。

コントローラーの各種モード画面／カテゴリー／パラメーター

運転モード画面

運転画面には3つの数値が示されます。各数値の意味は各数値の右の表示によって示されます。

次の数値が表示されます：

第一行目：待機時間

第二行目：スプレー時間

第三行目：スプレー継続時間

次のキーおよびキーの組み合わせは運転画面で使用することができます。

（キー）	（意味）
PRO（長押し）	設定モードへ進む
PRO ▼	異常をリセット
PRO ▲	異常を示す（異常がアクティブの場合）

異常モード画面

本機が異常を検知した場合、画面に異常メッセージが表示され、異常状態LEDも光ります。

次のキーとキーの組み合わせは異常が表示された場合に使用することができます。

（キー）	（意味）
PRO（長押し）	設定モードへ進む
PRO ▼	すべての異常をリセットする
PRO ▲	異常を非表示にする（運転画面へ戻る）

設定モード画面

本機のパラメーター設定は、設定モードから入力することができます。各パラメーターは様々なカテゴリーでグループ化されています。

カテゴリー（1行目）

c- 1	リピートおよび時間設定
c- 2	信号極性設定
c- 3	レベルスイッチ設定
c-10	その他の設定

カテゴリー：c- 1 リピートおよび、時間設定

パラメーター（2行目）	内容	選択肢および設定時間（秒）（3行目）
P-10	リピート設定	YES ／ no
t- 1	待機時間設定	0.000 ～ 9999
t- 2	スプレー時間設定	0.001 ～ 9999 および InF1（＝Infinite：無限）
t- 3	スプレー継続時間設定	0.000 ～ 9999
t- 4	液ダレ防止　先出エアー時間設定	0.000 ～ 9999
t- 5	液ダレ防止　後止エアー時間設定	0.000 ～ 9999

カテゴリー：c- 2 入出力信号反転設定

パラメーター（2行目）	内容	下記の設定でご使用ください（3行目）
P-21	トリガー信号入力	no
P-22	停止信号入力	YES
P-23	レベルスイッチ信号入力	no
P-24	シリンダーバルブ信号入力	no
P-25	エアーバルブ信号入力	no
P-26	異常信号入力	no
P-27	運転信号入力	no

カテゴリー：c- 3 レベルスイッチ設定

パラメーター（2行目）	内容	選択肢（3行目）
P-31	レベルスイッチの使用の有無	YES ／ no
P-32	異常（液無し）時のスプレー停止選択	YES ／ no
P-33	異常（液無し）を検知するのは？	YES →スプレーの時のみ no →常時（電源ON時）

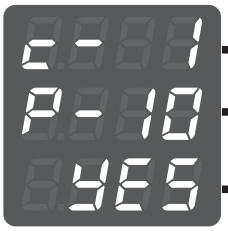
カテゴリー：c-10 その他の設定

パラメーター（2行目）	内容	選択肢および設定値（3行目）
P101	開始モード	StbY ／ rUn ※通常は StbY でご使用ください。
P102	データ通信	4800～312H の9種類
P104	パスワード設定	-999 ～ 0.000 ～ 9999 ※ 0.000 =パスワード設定なし

コントローラーの各種モード画面／カテゴリー／パラメーター

設定モードの各画面には次の情報が表示されます：

例：



→ カテゴリー＝リピートおよび時間設定

→ パラメーター＝ リピート設定

→ 設定値＝ YES

設定モード画面からのナビゲーションは次のように実行されます：

- 第一行目が点滅している場合：
  - ○ 別のカテゴリーを選択するために ▲ ▼ キーを使用することができます。
  - ○ このカテゴリーの最初のパラメーターの編集を開始するために PRO キーを使用します。
- 第三行目が点滅している場合：
  - ○ 選択されたパラメーターの設定値を変更するために ▲ ▼ キーを使用することができます。
  - ○ このカテゴリーの次のパラメーターを編集するために PRO キーを使用します。最後のパラメーターの編集が終わった後、再度第一行目を点滅させます。

c- 1：リピートおよび時間設定について

P- 10：リピートモード

このパラメーターは時間設定サイクルを繰り返す必要があるか否かを設定します（**YES** **no**）。

t- 1：待機時間

このパラメーターはワーク検知後、スプレーを開始するまでと、スプレーとスプレーの間の時間を設定します。

t- 2：スプレー時間

このパラメーターはスプレー時間を設定します。

- ❖ **t- 2** ≠ **InF 1**：このパラメーターが無限でない場合、本機は設定時間スプレーを行います。
- ❖ **t- 2** = **InF 1**：このパラメーターが無限である場合、本機は連続スプレーを行います。
  （**InF 1**＝infinite：無限）

t- 3：スプレー継続時間

このパラメーターは、ワーク検知終了後から（または運転切換スイッチを“停”にしてから）スプレーが終了するまでの時間を設定します。

t- 4：液ダレ防止・先出エアー時間

このパラメーターは、2流体スプレーの際、液ダレを防止するため、スプレー開始前に噴霧エアーをONにする時間を設定します。

t- 5：液ダレ防止・後止エアー時間

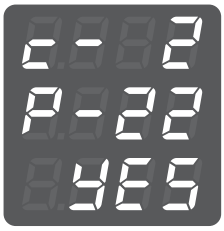
このパラメーターは、2流体スプレーの際、液ダレを防止するため、スプレー停止後に噴霧エアーをOFFにする時間を設定します。

コントローラーの各種モード画面／カテゴリー／パラメーター

c- 2：入出力信号反転設定

本機においては以下の設定になっている事をご確認の上、ご使用願います。

P-21：トリガー信号入力



P-22：停止信号入力

P-23：レベルスイッチ信号入力

P-24：シリンダーバルブ信号入力

P-25：エアーバルブ信号入力

P-26：異常信号入力

P-27：運転信号入力

c-3：レベルスイッチ設定について（レベルスイッチ付タンクをご使用時）

P-31：レベルスイッチの使用の有無
レベルスイッチを使用するかどうかを選択します。
（YESまたはno）

P-32：異常（液無し）時のスプレー停止選択
圧力タンク内の液が減少し、レベルスイッチがONとなった際(液が無くなった際)に、スプレーを停止するかどうかを選択します。
スプレーを停止する場合：YESを、スプレーを停止しない場合：noを選択します。

P-33：異常（液無し）を検知するのは？
レベルスイッチの検知を行うのは、スプレーの間（YES）と常時（no）のどちらであるかを選択します。

コントローラーの各種モード画面／カテゴリー／パラメーター

c-10：その他の設定について

電源スイッチON後に、本機を運転可能状態にするかどうか選択します。

P101：開始モード

Stby：運転準備スイッチONで運転可能状態に入ります。

run：運転準備スイッチに関係なく、電源スイッチON後、運転可能状態に入ります。

※出荷時はStbyに設定されています。

P102：データ通信について

このパラメーターは、弊社がプログラムの入力をする際に通信速度を選択するものですのでお客様のご使用にあたってはどの数値でご使用いただいても構いません。

P104：パスワード設定について

この設定は、お客様がお客様以外の方に設定内容を変更されたくない場合に使用します。

パスワードの設定は0000および0205以外の0001～9999および、-001～-999の任意の数値を選択してください。

パスワードを設定される場合、設定したパスワードを忘れないよう、下記の部分にメモをし、本書を大切に保管願います。

パスワード →

パスワードを忘れてしまった場合

スプレーカートⅢ　パスワード設定解除方法

パスワード設定の解除方法は

プログラムのバージョンにより異なります。

プログラムのバージョン確認方法

電源スイッチをＯＮにした直後の画面表示3段目をご確認ください。

＜写真１＞のプログラムは**Ｖｒ.1.11**です。

＜写真1＞電源投入直後の表示

《Ｉ》プログラム Vr.1.0＊**の場合**

➡弊社工場までご送付ください。設定解除後、返送致します。

※コントローラーの操作による設定解除はできません。

《Ⅱ》プログラム**Vr.1.1＊の場合**

<写真2>

➡解除手順　下記①～⑤ご参照

①電源スイッチをOFFにしてください。

②電源スイッチをＯＮにして<写真1>の表示の間に　PRO と ﹀ キーを同時に長押しします。

③1～2秒後に<写真2>の画面に切り替わりますので切り替わりと同時に手を離してください。

④<写真2>の表示の間に ﹀ キーを押してください。

※設定解除を行わない場合は　PRO または ﹀ を押してください。
<写真2>のまま操作を行なわない場合も設定解除されず、運転画面に切り替わります。

⑤P31をご参照の上、再設定してご使用ください。
※カテゴリー『c-2』について、工場出荷時の設定値に再設定お願い致します。

《Ⅲ》プログラム**Vr.2.15の場合**

➡ 0205 で設定解除できます。

※以下の<１><2>と同じ操作を行ってください。<2>のパスワード入力時に 0205 を入力してください。

パスワード設定を行った状態で、コントローラーの設定変更を行う場合

〈1〉運転モード画面にて　PRO ボタン長押し

→

〈2〉設定したパスワードを入力し、 PRO ボタンを1回押してください。
→入力した数値が合っていれば設定モード画面に移ります。
→数値が間違っていた場合、運転モード画面に戻ります。

代表的なスプレー設定方法

コントローラーの設定

ここでは以下の代表的な設定について説明します。

〈1〉ワンショットスプレー

〈2〉繰返しスプレー

〈3〉連続スプレー

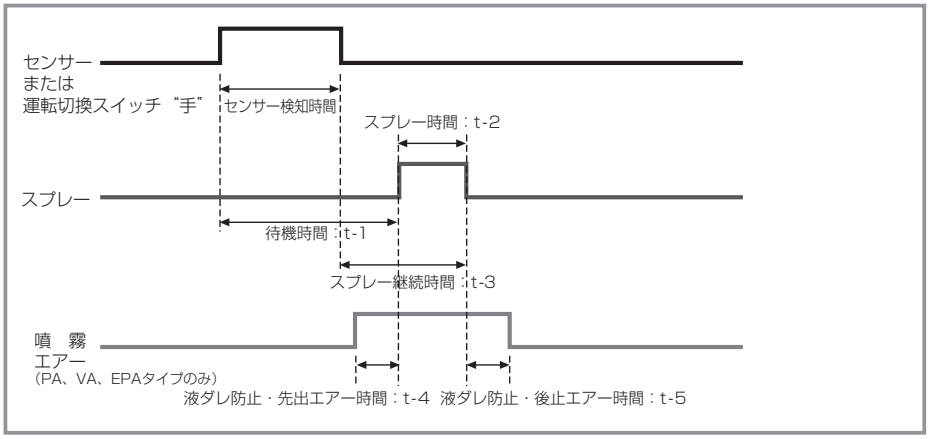
〈4〉ワーク検出時間同期スプレー

〈1〉ワンショットスプレー

センサー検知後1回のみタイマーに従ってスプレーするパターン

この時間設定モードの条件：

- ❖ t- 2 ≠ InF 1 ：スプレー時間は無限ではない
- ❖ P- 10 = no ：リピートなし



注意 !!

SCU3-EA/EPAタイプで高速電動型スプレーガン10000AUH[AA(B)10000AUH-01/-03/-10]/10000JJAUを使用される際の最小設定時間*は以下の通りです。(*各設定時間を下記以上にしてください。)

待機時間：0.010秒

スプレー時間：0.010秒

その他の自動ガンにつきましては、タイプやご使用条件により最小設定時間及び最大サイクルが異なりますので、以下の計算式及び自動スプレーガンカタログ（ブリテンNo.J881）をご参照ください。

サイクル：180回/minの場合

60秒÷180回＝約0.33秒/回

0.33÷2**=約0.17 **ONとOFFで1サイクル。

待機時間：0.17秒

スプレー時間：0.17秒

注意事項：

〈1〉1サイクルが終了する前に次の入力を受け入れることはできません。
（Vr.1.1＊以前）※バージョンの確認はP36-37をご参照ください。
液ダレ防止・先出エアー時間が待機時間よりも長い場合、最初の液ダレ防止 先出エアー時間 = 待機時間となります。
（待機時間0秒の場合、液ダレ防止、先出エアー時間も0秒）

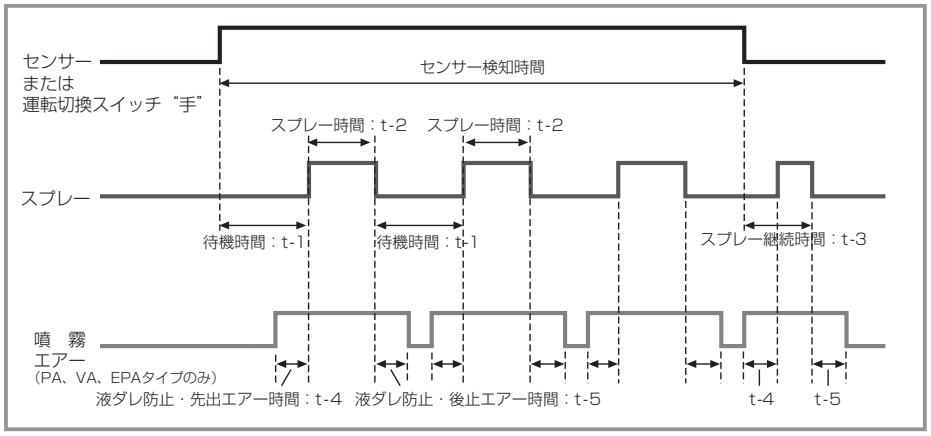
〈2〉繰返しスプレー

センサー検知がONの状態にある間タイマーに従って繰返しスプレーするパターン

この時間設定モードの条件：

❖ t- 2 ≠ inF 1：スプレー時間は無限ではない

❖ P- 10 = YES：スプレーサイクルをリピートする



注意 !!

SCU3-EA/EPAタイプで高速電動型スプレーガン10000AUH[AA(B)10000AUH-01/-03/-10]/10000JJAUを使用される際の最小設定時間※は以下の通りです。（※各設定時間を下記以上にしてください。）

待機時間：0.010秒

スプレー時間：0.010秒

その他の自動ガンにつきましては、タイプやご使用条件により最小設定時間及び最大サイクルが異なりますので、以下の計算式及び自動スプレーガンカタログ（ブリテンNo.J881）をご参照ください。

サイクル：180回/minの場合

60秒÷180回＝約0.33秒/回

0.33÷2**=約0.17 **ONとOFFで1サイクル。

待機時間：0.17秒

スプレー時間：0.17秒

注意事項：

〈1〉液ダレ防止 先出エアー時間が待機時間よりも長い場合、最初の液ダレ防止 先出エアー時間 = 待機時間となります。

（待機時間0秒の場合、液ダレ防止、先出エアー時間も0秒）

〈2〉液ダレ防止 先出エアー時間と液ダレ防止 後止エアー時間の合計が待機時間よりも長い場合、噴霧エアーはONのまま、待機時間および、スプレー時間に従い、繰り返しスプレーを行います。

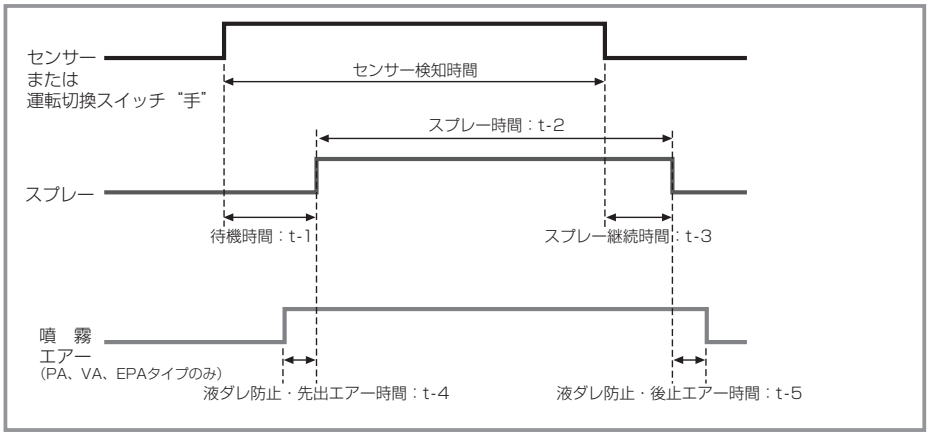
代表的なスプレー設定方法

〈3〉連続スプレー

センサー検知がONしている間はスプレーが続行し、センサー検知OFFでスプレーが停止するパターン

この時間設定モードの条件：

- ❖ t- 2 = InF 1 ：スプレー時間パラメーターは無限
- ❖ P- 10 = no ：リピートなし



注意事項：

〈1〉液ダレ防止 先出エアー時間が待機時間よりも長い場合、最初の液ダレ防止 先出エアー時間 = 待機時間となります。
（待機時間0秒の場合、液ダレ防止、先出エアー時間も0秒）

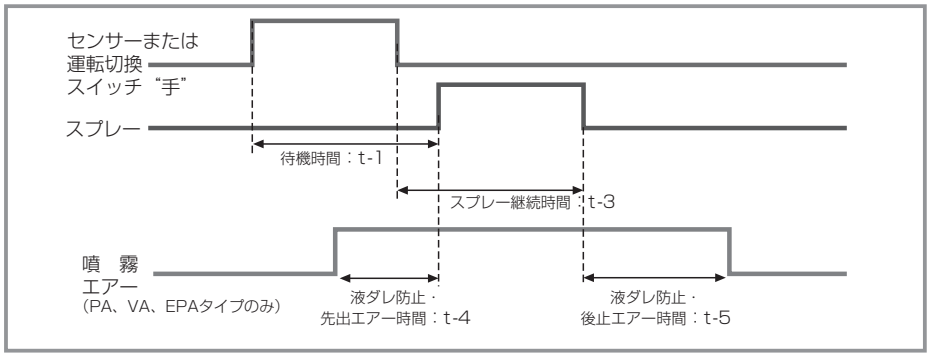
〈2〉液ダレ防止・後止エアー時間はスプレー継続時間終了後に設定時間通り作動します。

〈4〉ワーク検出時間同期スプレー

センサーがワークを検知した時間と同じ時間スプレーを行うパターン

この時間設定モードの条件：

- ❖ t- 2 = InF 1：スプレー時間パラメーターは無限
- ❖ P- 10 = no ：リピートなし
- ❖ 待機時間 = スプレー継続時間



注意 !!

SCU3-EA/EPAタイプで高速電動型スプレーガン10000AUH[AA(B)10000AUH-01/-03/-10]/10000JJAUを使用される際の最小設定時間*は以下の通りです。(*各設定時間を下記以上にしてください。)

待機時間：0.010秒

スプレー時間：0.010秒

その他の自動ガンにつきましては、タイプやご使用条件により最小設定時間及び最大サイクルが異なりますので、以下の計算式及び自動スプレーガンカタログ（ブリテンNo.J881）をご参照ください。

サイクル：180回/minの場合

60秒÷180回＝約0.33秒/回

0.33÷2**=約0.17 **ONとOFFで1サイクル。

待機時間：0.17秒

スプレー時間：0.17秒

スプレー時間は以下の方法にて、増減することができます。

＜スプレー時間を増やす方法＞

- ・待機時間を減らす…ワークが自動ガンの下に位置する前にスプレーを開始します。
- ・スプレー継続時間を増やす…ワークが自動ガンを完全に通過した後もスプレーが続きます。

＜スプレー時間を減らす方法＞

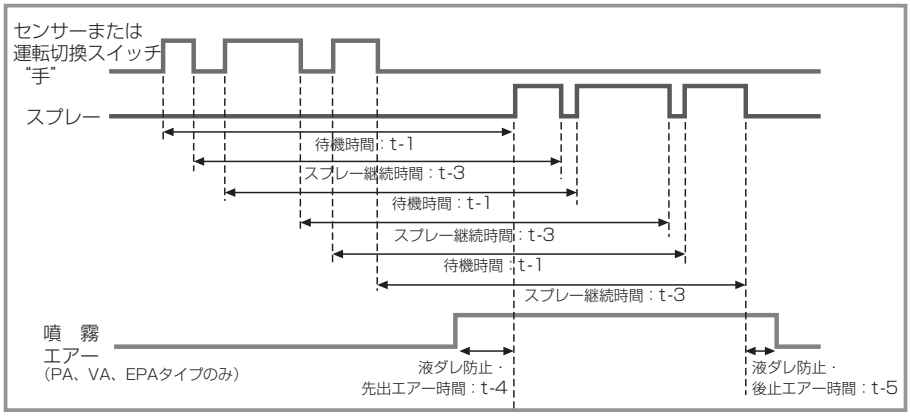
- ・待機時間を増やす…ワークが自動ガンの下に位置したあとにスプレーが開始されます。
- ・スプレー継続時間を減らす…ワークが自動ガンを通過してしまう前にスプレーが停止します。

代表的なスプレー設定方法

注意事項：

〈1〉液ダレ防止・先出エア時間が待機時間よりも長い場合、最初の液ダレ防止・先出エア時間 = 待機時間となります。
（待機時間0秒の場合、液ダレ防止、先出エアー時間も0秒）

〈2〉センサーと自動ガンの間に複数のワークがある場合、本機は下図のような動作を行います。ただし、検知可能ワーク数は最大3個で4個以上のワークは無視されます。（Vr.1.1＊以前）※バージョンの確認はP36-37をご参照ください。



〈3〉待機時間よりも長いスプレー継続時間および、密接する2個のワークに対して、以下の条件の両方が当てはまる場合、本機は2個ワークに対して連続してスプレーを行います。

・スプレー継続時間＞待機時間

・2個のワーク間距離＜(スプレー継続時間 － 待機時間)

〈4〉待機時間よりも短いスプレー継続時間および、極端に短いワークに対して、以下の条件の両方が当てはまる場合、本機はスプレーを行いません。

・スプレー継続時間＜待機時間

・ワークの長さ(=センサー検知時間)＜(待機時間 － スプレー継続時間)

お手入れ、メンテナンス

●お手入れするときは運転を止めて、コンセントから電源プラグを抜いてください。
●すべてのレギュレーターを0MPaにし、安全弁上部のリングを引っ張り、圧力タンク内圧が完全に抜いてあるかを確認してからお手入れを始めてください。
●長く使わない場合は、送風運転をして内部を乾燥しておいてください。電源プラグもコンセントから抜いておいてください。

■カート本体

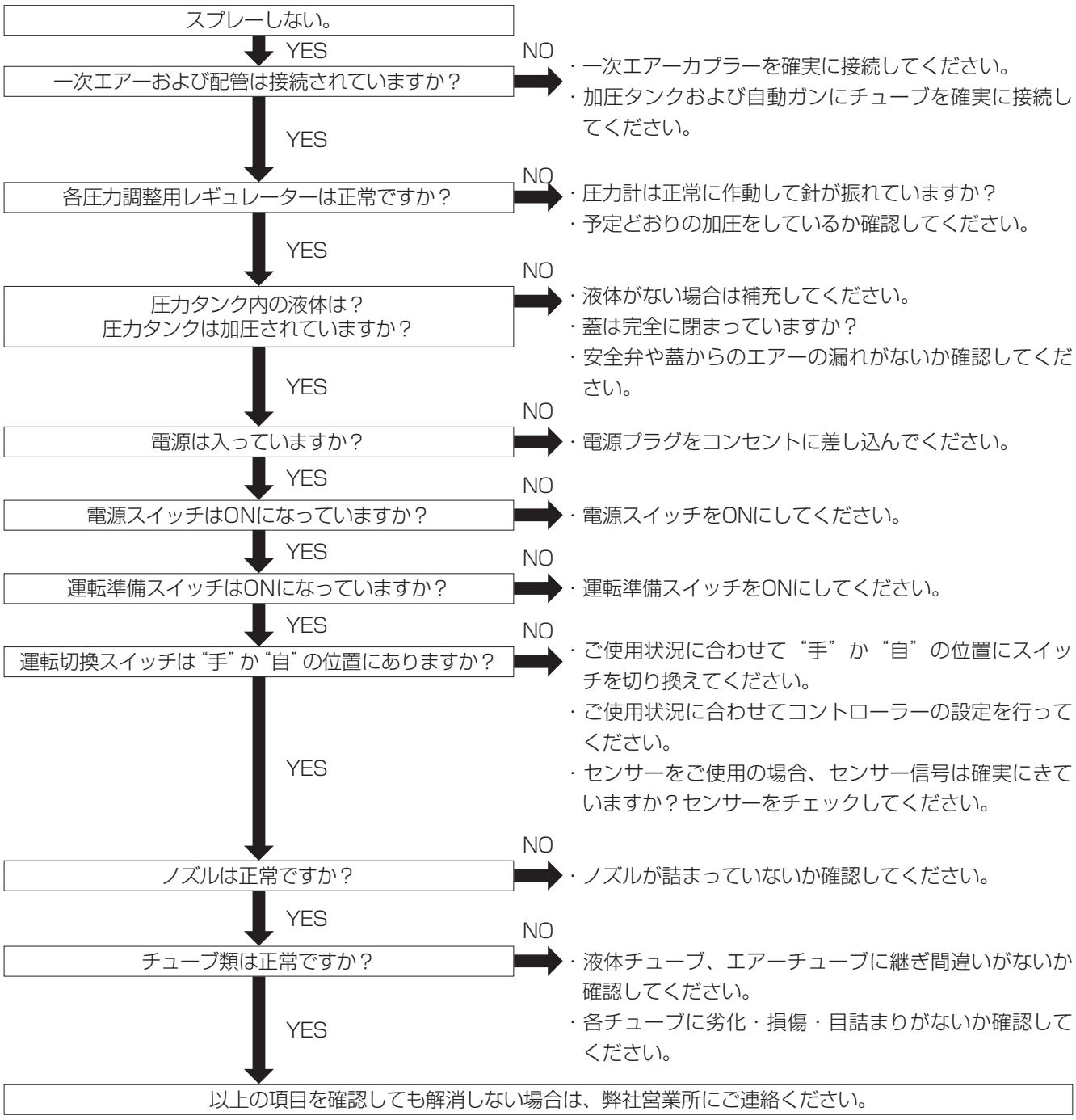
●使用後は乾いた布でよく拭いてください。汚れのひどいときは中性洗剤を用いてかたく絞った布で水拭き後、洗剤が残らないよう再度かたく絞った布で水拭きしたうえ、乾いた布でよく拭きとってください。本体の水洗いは絶対にしないでください。
●“ベンジン”“シンナー”“磨き粉”“化学ぞうきん”等は使わないでください。
●圧力タンクは必ず洗浄してください。
●お手入れをした後に次の点検をしてください。
a) 電源コードやチューブに亀裂やすり傷がありませんか。
b) チューブの取付け口はしっかりとつながっていますか。

■自動スプレーガン・ノズル

●自動スプレーガンとノズルは精密部品で構成されています。作業終了後は必ずメンテナンスを実行してください。その場合、お客様の判断で行わず、メンテナンスの方法については弊社営業所にお問い合わせください。
●スプレーチップの洗浄・点検は特に慎重に行ってください。誤ってオリフィスに傷を付けた場合、もとの性能を保てなくなる可能性があります。

故障と思われる前に――――――――――トラブルシューティング

スプレーしない場合は、下記の項目を確認してください。



主な仕様

タイプ		HAタイプ	PAタイプ	VAタイプ	EAタイプ	EPAタイプ
		汎用型 一流体 自動スプレーガン用	汎用型 二流体 自動スプレーガン用	噴霧幅可変型 二流体 自動スプレーガン用	高速電動型 一流体 自動スプレーガン用	高速電動型 二流体 自動スプレーガン用
ホース		エアー系統：ウレタン　液系統：ナイロン*1				
タンク	容量	10L / 18L				
	材質	SUS				
	O-リング材質	NBR				
カート	フレーム材質	SS+塗装				
	カバー材質	SS+塗装				
	一次エアー接続口	カプラプラグ　20PM				
コントロール	型式	2050型コントローラー				
	待機タイマー	0.000～9999秒*2				
	スプレータイマー	0.001～9999秒、InFI（infinite：無限）*2				
	外部出力	DC24V				
	外部センサー	DC24V2線式または3線式（NPN出力）				
その他	最大使用圧力	0.7MPa				
	安全弁作動圧力	0.6～0.8MPa*3				
	供給電源	AC100V（消費電力約50W）				
	最大使用電流	1A（電動ガン使用時）				
	質量	約24kg（乾燥質量）				

＊1　フッ素樹脂もあります　　＊2　設定時間は各種自動ガンによります。

＊3　圧力タンクの常用使用圧力0.5MPa以下。

※供給エアーはミストセパレーターなどを使用した、油分、水分のないクリーンなエアーをご使用ください。

製品保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご購入日から1年間、取扱説明書、その他注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書の記載内容にもとづき、無料修理いたしますので、当社営業所にご依頼のうえ、本書をご提示ください。

品　　名	Spraycart Ⅲ		
お客様名			
ご 住 所			
保証期間	ご購入より１年	ご購入日	年　　月　　日
営 業 所 (販売店) 所 在 地			

スプレーイング システムス ジャパン株式会社

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷
   - ロ．お買い上げ後の移動、落下、輸送等による故障または損傷
   - ハ．火災、地震、落雷、その他の天災地変、その他の外部要因による故障または損傷
   - ニ．本書の提示がない場合
   - ホ．本書にご購入年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   - ヘ．ノズル用パッキン等、消耗品の損傷
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。
3. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保存してください。
4. 本製品の故障による生産ダウン、機器損傷などの２次損害については保証いたしませんので、このような事態が予想される場合には、弊社にご相談ください。

No.

※製品の外観、仕様は予告なく変更する場合があります。

スプレーイングシステムスジャパン株式会社
Spraying Systems Co., Japan
Experts in Spray Technology

Spray Nozzles　Spray Control　Spray Analysis　Spray Fabrication

www.spray.co.jp

本　　社	東京都品川区東五反田5-10-18	〒141-0022	TEL 03(3445)6031　FAX 03(3444)5688
東京営業所	東京都品川区東五反田5-10-18	〒141-0022	TEL 03(3449)6061　FAX 03(3444)5679
神奈川営業所	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-20-16	〒224-0037	TEL 045(948)5363　FAX 045(948)5383
静岡営業所	静岡県富士市瓜島町130-2	〒417-0057	TEL 0545(51)5671　FAX 0545(51)5270
名古屋営業所	愛知県名古屋市北区若葉通1-32	〒462-0854	TEL 052(910)8281　FAX 052(910)8288
北陸営業所	石川県小松市木場町イ-36	〒923-0311	TEL 0761(43)0310　FAX 0761(43)1980
大阪営業所	大阪府東大阪市長田中1-3-8	〒577-0013	TEL 06(6784)2700　FAX 06(6784)8866
九州営業所	福岡県福岡市博多区吉塚8-1-14（PANリバーズVI）	〒812-0041	TEL 092(627)1715　FAX 092(627)1716
八日市場工場	千葉県匝瑳（ソウサ）市みどり平2-4	〒289-2131	TEL 0479(73)3157　FAX 0479(73)6671

ISO 9001:2008 14001:2004 CERTIFIED
八日市場工場　認証取得

ⓒSpraying Systems Co., Japan 2006-2012　Printed in Japan 1202-002.NJ